

○令和5年度 教育事業

「全国高校生体験活動顕彰制度 地域探究プログラム（剣淵高校）」

(R5. 7. 12 (水) ~14 (金))

◆目的

高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動をととして、問題発見・解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材の育成に資する。

◆参加実績

北海道剣淵高等学校2年生 未来のしんろコース 2名

◆プログラム

① アイスブレイク・地形観察・・・(45分)

アイスブレイクのゲームを行い、参加者と職員との緊張感を解消し、話しやすい雰囲気をつくった。その後3日間の課題を提示し、北西の丘展望台から美瑛の地形の様子を観察した。美瑛の地形を剣淵町の地形と比較し、その特徴を考えた。



② 美瑛の成り立ちを学ぶ・・・(30分)

美瑛選果と道の駅びえい「丘のくら」を見学し、美瑛町ではどのようなものが特産物としてあるのかや、それらがどのように売られているかを調査した。



③ 十勝岳について学ぶ・・・(165分)

当日は悪天候であったため、予定していた「ジオマップハイキング（マグマ越えコース）」を変更し、十勝岳火山砂防情報センター、しらひげの滝、青い池の見学を行った。十勝岳火山砂防情報センターでは、十勝岳が火山であることやそれによって引き起こされる現象と災害を学んだ。しらひげの滝、青い池では、火山によって生まれた景観を観光資源として利用していること、それを見に多くの外国人観光客が訪れていることを学んだ。



④ 1日目まとめ・・・(60分)

この日に学んだ内容をふりかえり、美瑛町がどのような町なのか考えて、翌日の活動への見通しを持った。

⑤ 美瑛町の町おこし人と座談会・・・(150分)

美瑛町内にある喫茶店を会場として使用し、美瑛町の町づくりに取り組んでいらっしゃる方からお話を伺い、どのような活動を行っているのか、どのような思いをもって取り組んでいるのかについてお話しいたき、町づくりに対する心構えなどを学んだ。

⑥ 畑DEフットパス・・・(170分)

美瑛町で観光ガイドをされている小倉氏を講師としてお招きし、美瑛町の畑を実際に歩きながら美瑛町の農業の変遷や観光業との共存についてお話を伺った。また、駅周辺の街並みを見て景観を意識した街並みづくりを町が進めていることとお話しいたき。



⑦ 2日目まとめ・・・・・・・・(50分)

この日に学んだ内容をふりかえり、美瑛町やそこに住む人々がどのように町づくりをしているのかを考えてまとめた。

⑧ 2日間のまとめ・・・・・・・・(60分)

2日間で学んだ事をふりかえり、まとめることで、美瑛町が火山によってできた地形や景観を生かして産業を発展させ、町づくりを行ってきたことを確認し、なぜ美瑛町に観光客が来るのかを考えた。

⑨ 剣淵町のためにできる事・・・・・・・・(60分)

美瑛町に観光客が来る理由を基に、剣淵町のために自分たちができることはどんなことか考えた。観光マップの開発や特産品を使ったレシピづくりやイベントの開催などの案が出た。



◆事業運営・企画のポイント

○美瑛町について学ぶことで、美瑛町と比較して剣淵町をとらえることができ、客観的な視点から考えることができた

○1日目は美瑛町の成り立ちや地形、特産品を学び、2日目は産業を生かした町づくりや町おこしに取り組む人について学ぶことで、土地を生かした町づくりについて学ぶことができる。

○まとめの内容をグラフィックレコーディングで記録し、ホワイトボードに残しておくことで、最終日にこれまで学んだ事を想起しやすくする。



◆参加者の声

□美瑛町の特徴や観光、火山噴火による影響や恩恵について深く知れた。

□色んな人の考え方や、どういう経緯で美瑛の観光地ができていったのかが知れて良かった。

□3日間で学んだ事をこれからどのように活かすかや何をしたいか、何ができるかを考え、剣淵町の良さを再認識できた。

◆事業の成果

① 前年度の反省を基に、プログラムの改良を行うことができた。

② 学校と協議を重ね、学校の要望やカリキュラムに合わせたプログラムを提案し、実施することができた。

③ 美瑛町の観光業がその土地を生かしたものであると学ぶことで、剣淵町を生かすにはどのような活動を行うことができるのか考えることができた。